

平成27年10月27日

うるま市長
島袋俊夫様

うるま市行政改革推進委員会
(補助金審査委員会)
会長 佐藤学

平成27年度うるま市補助金等に関する審査結果について

この度、うるま市行政改革推進委員会規則第2条第3項及びうるま市補助金制度に関する指針に基づき、うるま市が行う補助金等について審査を行ったところでありますが、審査委員会としての提言を別紙「平成27年度うるま市の補助金等に関する審査結果について」のとおり取りまとめましたのでここに報告いたします。

平成27年度

うるま市の補助金等に関する審査結果について

平成27年10月

うるま市補助金審査委員会

目 次

第 1 審査の対象と方法	1
審査の対象	
審査方法	
第 2 審査結果概要	2
総括	
総合評価内訳	
第 3 個別審査結果	5
◇ 付属資料	10

第1 審査の対象と方法

1. 審査の対象

前年度同様、すべての部署の補助金等を対象に、事務局が調製したリストの中から各委員が3件をピックアップし、委員会で最終選定した10件の補助金等を対象に審査した。ただし、以下のものを除く。

- ・出席者負担金
- ・法令（市条例は除く）に定めのある負担金

2. 審査方法

審査結果を平成28年度の予算編成に反映させるため、10月までに審査を終えることにした。

審査は個別の補助金等について、事前に事務事業評価票（補助金交付型）、事業報告書、決算書等の資料の提出を求め、担当部署ごとにヒアリングを実施し以下の要領で行った。

- ①「うるま市補助金制度に関する指針」に定める「交付基準」を踏まえ評価を行い、「見直し基準」により方向性を判断する。
- ②審査対象補助金を1回あたり、5件を目途に審査する。
- ③審査では、補助金審査票（事務事業評価票・補助金交付型）及び関連資料を基に担当課ヒアリングを実施する。ヒアリングは、うるま市補助金制度に関する指針に示した補助金交付基準（1. 事業の公共性、2. 事業の効果性（有効性・効率性・適時性）、3. 団体等の適格性など）に基づき、市民の視点から補助の必要性、額の妥当性等を検証する。
- ④上記審査に基づき、委員会としての総合評価（A、B、C、D）を決定し、その理由や意見、見直しの方向性等を取りまとめる。

第2 審査結果概要

1. 総括

うるま市における補助金等のあり方について、市民の目線で審査を行うために当委員会が設置され、今回で9度目の審査となった。市民の立場から補助金等を確認していくことは行政改革として大変重要なことであり、補助金等が設定された趣旨や、時代の流れの中で本当に相応しいのか、常に検証していく必要がある。

今回、各委員が3件ずつピックアップした補助金等の中から、委員会で最終的に10件を選定し、担当課の事務事業評価票を基にヒアリングを行い、「うるま市補助金制度に関する指針（平成26年5月改訂）」に基づいて「本当に必要な補助金か」「額は妥当か」「運営上の課題はないか」の視点から審査を行った。審査の結果として、まず始めに総括的な指摘事項として以下のとおり提言する。

（1）定期的な指導・助言

審査の結果を踏まえ、団体に対して指導・助言を行っていることは評価するが、すべてが改善に繋がっているとは言えない。

更に改善を図るためにも、担当課は年間を通して定期的な指導を行い、その指導を踏まえ団体がどのように対処したのかを明文化し、より透明性のある補助金の執行に繋げる仕組み作りが必要と考える。

一方で、補助団体は、自助努力による事業展開をより一層行い、地域や他団体と連携を図るなど、補助金に頼らない自主的・自立的な運営をしていくよう努力していただきたい。

（2）補助団体への提言

これまでの審査においても、団体運営補助に対しては、会員加入率の向上、効率的・効果的な事業展開、事業のスリム化など、団体の改革努力が求められている。今回の審査においても同様な指摘があることから、まだまだ改善の余地はあると思われる。

補助金により運営が成り立つ団体もあることは理解できるが、補助金ありきの事業計画や活動の展開ではなく、常に事業内容の見直しや改革を行いながら、自立に向けた事業展開を行っていただきたい。

(3) 適正な目標値の設定

今回の審査において、補助金を交付する目的や効果に直結しない目標値が掲げられ、補助金の必要性が判断できないものが見受けられた。

目標指標の設定は、補助金の交付がどのような効果をもたらすか検証する上で重要であり、それにより前例踏襲的な交付を防ぐことになると考える。

担当課は、明確な目標値を設定するとともに、その目標値を達成するためにどのような指導・助言が必要かを考え、適切な補助金の交付を行っていただきたい。

(4) 補助目的の明確化

時代の変化により、当初の補助団体の目的や事業内容が変化し、現状と合わないこともある。

担当課及び補助団体は、現在の状況を踏まえた目的を設定し、どのような事業を行えば目的が達成できるのかを常に考える必要がある。

「真に補助すべき事業なのか。」「目的に沿った事業、団体運営がなされているか。」担当課はしっかりと精査した上で、補助金を交付するよう努めていただきたい。

(5) 事業効果の検証

事業効果の検証がなされていないため、効果が不透明である事業が見受けられた。担当課は事業効果の検証を行うに当たり、必要なデータ徴取を行うなど補助金の本来の目的が達成されているか把握する必要がある。

また、事業効果の検証結果を踏まえ、客観的な視点で補助の必要性、補助額の妥当性などを判断し、効果的な事業内容への転換などを検討する必要があると考える。

(6) 企業の安定経営と雇用創出に向けての取り組み

今回審査した補助金には、企業に対する操業資金の負担軽減を図ることを目的とした事業があり、安定的な経営や雇用の促進に繋がることから評価できる。

担当課は、事業対象となる企業の抽出を慎重に行うとともに、企業の安定経営と雇用創出に資するような補助事業を推進していただきたい。

(7) まとめ

今回の審査で、これまでの指摘事項により改善が図られたものもあったが、さらに見直し改善を行う必要があるため、審査委員会の評価を平成28年度の予算に反映できるよう、その対応を引き続き求める。

担当課においては補助金を交付するにあたり、補助金額は適正か、補助金の目的に沿った用途であるか、どのように効果が上がっているか等検証を行い、常に確認しながら事務事業を執行する必要があると考える。その中で改善が必要な場合においては、担当課はどのような指導を行い、それに対し補助団体がどのように対処したのかを明文化していただきたい。

補助金の効果や恩恵を受ける機会は、すべての市民又はすべての対象者に公平、平等に行きわたる必要があることから十分な周知を図る必要がある。

また、補助団体においては、現状にとどまらず、常に事業内容の見直しや改革を行いながら、自立に向けた事業展開を行うように努めていただきたい。

なお、今回審査対象でない補助金についても、「うるま市補助金制度に関する指針」に基づき適正な補助金交付がなされているか、各担当課はしっかりと精査する必要がある。

2. 総合評価内訳

A：更に充実させる方向で見直し	1件
B：現状のまま継続	2件
C：効率化・コスト削減の方向で見直し	6件
D：縮小・廃止を前提とした見直し	0件
外：評価なし	1件

第3 個別審査結果

うるま市商工会補助金【商工観光課】

「うるま市商工会補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

商工会活動の主である経営や技術改善などの相談及び指導を強化し会員支援をさらに充実させるためには、常に改善・改革を行う必要がある。

会員になる魅力を感じていないことが商工会加入率を伸ばせない要因として考えられるため、会員のための効果的な事業展開を図るとともに、企業としての社会的役割や地域連携の重要性を伝えていく必要がある。

自立運営に資する方策として、商工会自身が地域の特産品をうまく活用しながら、賑わい活力のある商工会になるよう、担当課は今後も指導・助言を継続していただきたい。

うるま市観光物産協会補助金【商工観光課】

「うるま市観光物産協会補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

現時点では、市からの補助金や受託事業にて運営している状況であるが、すぐに自立することは難しいと理解できる。

しかしながら、自主財源の増加は重要課題であることから、事業の費用対効果を検証し取捨選択やスリム化を図るとともに、財源確保に効果的な自主事業へ転換する必要があると考える。市として将来を見据えた方針を打ち出し、継続して連携に努めていただきたい。

うるま市鍼灸・あんま・マッサージ補助金【国民健康保険課】

「うるま市鍼灸・あんま・マッサージ補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

医療費節減への効果を期待している事業であるが、対象者への周知が不足していることから改善が必要である。

また、事業を継続する上では、少なくとも3分の1の利用者からアンケートを徴取し、事業を行う効果等について検証に努めていただきたい。

中部北環境施設組合負担金【環境課】

「中部北環境施設組合負担金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

ごみ処理に係る義務的な経費であるため負担金の拠出は必要だが、市としても負担金を支出する上で、組合の予算内容を十分に把握するとともに、ごみの現状の実態掌握に努める必要がある。

現場の状況も知った上で、負担金の削減を目指すためには、データをとるなど家庭・地域・企業の環境意識がさらに高まるような取組が必要であると考えます。

担当課はごみ分別や生ごみ処理方法等の積極的な市民への周知啓蒙を図り、一層の市民協働によるごみ減量化に努めていただきたい。

うるま市身体障害者育成補助金【障がい福祉課】

「うるま市身体障害者育成補助金」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

障がい者の自立及び社会進出を促していくためには、当該団体の役割は重要であり、補助の必要性は高いと考える。

ただし、当該団体の会費収入額を目標指標としているが、不相当だと思われる。団体が行う様々な活動への会員の参加率など、会員の自立や社会参加に繋がる目標指標の設定が適当ではないかと考える。

担当課は、会員の増加や活性化を促すとともに、団体の体制強化や補助金の適正な執行をしっかりと指導するよう努めていただきたい。

うるま市社会福祉協議会運営補助金【生活福祉課】

「うるま市社会福祉協議会運営補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

これまでの審査を踏まえ、社会福祉協議会に対し、改革の必要性及び事業のスリム化などの指摘を行っていることは評価できる。

更なる改善を図るためにも、担当課は審査会の指摘を踏まえどのような指導をし、社会福祉協議会がどのように対処したのかを明文化していただきたい。

また、社会福祉協議会へ年間を通して定期的に指導を行うとともに、事業内容を把握することで類似事業のスリム化を図る必要がある。

社会福祉協議会の担う役割が大変重要なことは認識している。今後も効率的・効果的な事業を展開し、さらに充実した福祉を目指していただきたい。

駐留軍離職者センター助成費【企業立地雇用推進課】

「駐留軍離職者センター助成費」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

駐留軍離職者センターは、復帰間もない時期の軍雇用員の削減に伴い、離職せざるを得ない基地従業員の雇用を救済する機関として設立され、その役割については理解できる。

一方で、ハローワーク等の機関や他の就職あっせん事業が増加している現状から、時代に合わせた事業内容への転換が必要と考える。

一方で、アスベストによる健康被害の相談窓口や認定を受けるための訴訟手続きなど、当センターは重要な役割を果たしていることから、その実績や活動状況について宣伝し、活動の活性化に繋げていただきたい。

担当課は更なる運用効率化、助成目的を明確にして、補助金の支出について検討していただきたい。

勤労者サービス推進事業【企業立地雇用推進課】

「勤労者サービス推進事業」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

勤労者福祉サービスセンターは、中小企業勤労者等の福祉の向上を図るとともに、中小企業の振興、地域社会の活性化を目的として関係市町村の協定により設置され、負担額についても協定で定められている。

加入する上で、負担割合の条件を付し、負担額を抑制した努力は認めるが、加入率が低いことから更なる周知が必要である。

今後は普及啓発を強化し、うるま市の加入率向上に向けて積極的に取り組むよう、担当課として指導していただきたい。

中城湾港新港地区工業団地における電力低減化モデル事業【企業立地雇用推進課】

「中城湾港新港地区工業団地における電力低減化モデル事業」の評価のまとめ

総合評価

新規事業のため実績がなく評価しない

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

中城湾港新港地区工業団地に立地する企業に対し、電力消費量可視化設備設置及び省エネ診断へ補助することで効率的な電力使用が可能となり、ランニングコストの削減につながることは評価する。

そのためにも、事業を開始する前に事前の調査を十分に行い、事業の効果が期待できる企業の抽出に努めていただきたい。

積極的な事業展開を行うことにより企業の安定経営と定着を図り、最終的な目的である雇用創出へつながるよう努めていただきたい。

万国津梁輸送ネットワーク強化事業補助金【企業立地雇用推進課】

「万国津梁輸送ネットワーク強化事業補助金」の評価のまとめ

総合評価

A：更に充実させる方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

国際物流拠点作業集積地域に立地する企業に対し、企業の負担軽減を図るために、製品輸送費用を補助する必要性は高いと考える。

今年度より企業の立地年数によって補助率を設定し、補助額を段階的に削減する見直しが図られていることは評価するが、市、県の負担割合等、見直し後の事業概要を明確に示す必要がある。

拠点を構えて10年以上経過した赤字企業に対する補助金支出の際には、単に赤字解消の補てんという状況にならないよう厳正に審査し、これまで以上に事業全体の効果が表れることを期待する。

◇付属資料

うるま市補助金審査委員会委員名簿

	区分	氏名	役割等
1	委員長	さとう まなぶ 佐藤 学	学識経験者
2	副委員長	ふくはら とおる 福原 徹	公募委員
3	委員	なかち はじめ 仲地 一	公募委員
4	委員	とぐち ひろゆき 渡久地 博之	公募委員
5	委員	かわの えつこ 川野 悦子	公募委員
6	委員	そのぎき かよこ 園崎 香代子	公募委員
7	委員	いけはら ともこ 池原 トモ子	公募委員
8	委員	たま え あきひろ 玉栄 章宏	公募委員
9	委員	しんじょう もとき 新城 基樹	公募委員
10	委員	やましろ えいこ 山城 栄子	公募委員

平成27年度 うるま市補助金審査委員会審査経過

日 程	事 項	内 容
5月26日(火) ～6月8日(月)	各委員による選定作業	補助金等の中から各委員3件ずつ選定
6月25日(木)	第1回行政改革推進委員会	補助金審査対象事業の選定
7月31日(金)	第1回補助金審査委員会	①「うるま市補助金審査委員会設置に関する方針」の確認 ②平成27年度補助金審査委員会日程等の確認 ③審査方法の確認 ④個別補助金について審査【5件】
9月3日(木)	第2回補助金審査委員会	①第1回委員会、議事録及び評価のまとめ確認 ②個別補助金について審査【5件】
10月8日(木)	第3回補助金審査委員会	①第2回委員会、議事録及び評価のまとめ確認 ②審査結果報告書の作成
10月27日(火)	平成27年度補助金等に関する審査結果について	補助金審査結果を市長へ報告